

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

専門家教育を目的とした心血管疾患の肉眼・組織病理標本の学術集会・セミナー等における展示

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年から2023年に当院臨床病理診断科において病理解剖を施行された方

2. 研究目的・方法

心臓は絶えず収縮・拡張を繰り返し、血管は心拍毎に絶えず強い血圧の変動を受けている臓器です。そして、この血液を送るポンプ機能を70年以上にわたり絶え間なく継続し、そして血液を高圧の全身循環と、低圧の呼吸のための肺循環をいう二つの異なる循環系に同時に効率よく送り出すために、非常に複雑で巧みな肉眼構造をしています。心臓・血管疾患の診療にあたる医療関係者は、心臓・血管病の患者の治療をするにあたりこの複雑な三次元構造を正確に理解する必要がありますが、心臓や血管は生命維持に必須な臓器であり、手術では当然取り出す機会もなく、その全体像を目の当たりにすることはほぼ皆無です。そのため、循環器疾患に携わる医療従事者がその知識と技術向上のために心臓や血管の立体的な肉眼構造を学習するには、病院で亡くなられ、医学研究・教育の発展のため病理解剖をご承諾いただいた患者様の心臓や血管を見て学ぶほかありません。こうした医学教育のため病理解剖の臓器は貴重な財産であり、この事は病理解剖のご承諾時にお渡しした説明文にも記載されています。こういった目的で病理解剖の保存臓器は病院内ですでに広く活用されているところではありますが、今回の研究協力のお願ひではその活用範囲をさらに広めて、院外で行われる医学関連学術集会や講演会・セミナーにおいて医療従事者向けに病理標本の実際の心臓を展示して講演を行うお願ひをするものであります。病理解剖で摘出した心臓や血管はホルマリン固定により長期保存が可能な状態になっており、その中でも典型的な疾患や希少な症例を選定して、すべての個人情報削除した上で特設の会場内で展示・講演を行います。臓器は病院外に持ち出しますので、展示中は盗難・破損に充分留意し、盗難等にあう事のないよう常時担当者の監視下におき、また観察に際しては企画参加者が実際に手に取って観察できるようにしますが、このような臓器は医学研究のためにご献体いただいた崇高な意志を持たれた患者ご遺体の一部であることを常に念頭において、礼を失しないように配慮し、繰り返し活用することができるように愛護的に扱うようにさせていただきます。

展示に際しては患者さんの臨床経過や検査結果などの情報を付記して示す場合もありますが、それらの情報はすべて匿名化したうえで使用致します。

研究期間

医学研究科人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学医学研究科長、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学江東豊洲病院 病院長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理解剖検体（病理解剖ホルマリン固定標本、病理解剖凍結標本および凍結血液、病理解剖ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック、病理解剖ガラス標本）、病理解剖診断に付随する資料（病理解剖番号、病理解剖申込書、病理解剖報告書、病理解剖プロトコル(所見記載用紙)、検体肉眼画像、検体組織画像など）と生前の患者情報（カルテ番号、年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）、臨床検査結果。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部法医学講座 氏名： 松山 高明

住所：東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号： 03-3784-8140

研究責任者： 松山 高明